



# いわて国体

スプリント成年女子  
カヤックシングル  
500メートル・200メートル

こんにちは  
おおむらあすみ  
大村朱澄  
です!

vol. 17

# 2冠達成!

本町出身の大村朱澄選手(城北信用金庫)が、10月に開催された第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」に静岡県代表として出場しました。結果は、スプリント成年女子カヤックシングル500メートルと同200メートルで優勝し、見事2冠を達成しました。

成年になってからは初の2冠と話す大村選手。喜びと感謝の声をお伝えします。

## 【国体報告】

今年の国民体育大会で、500メートル・200メートルシングルで2種目ともに優勝することができました。

成年になり、国体での2種目優勝は今回が初めてのことでした。

これまでにも、全日本選手権や日本代表選手選考会などでの優勝は幾度とありましたが、国体では2位続きが多かったため、今年が一番良い報告をすることができ、心からうれしく思います。

また国体出場は高校生の頃から数えて、11回目の出場となりました。県として最も注目されるこの国体で、これまで変わらず静岡県代表として出場できていることに改めてうれしく、幸せなことだと感じています。

今後は、目標としている世界で勝てる選手になっていくために、国内

にとどまることなく、しっかりと力をつけていきたいと思っています。

## 「リオを見て感じたこと」

8月にリオデジャネイロ五輪が開催されましたが、今回はテレビの前で観戦している自分がいきました。

私もその場に選手として出場したかったのに何をしているんだろうと思う反面、今の自分の実力ではとても張り合えるレベルではないと自分の弱さや甘さに改めて向き合い、気を引き締める思いとなりました。

また、今大会ではカヌースラローム競技の羽根田卓也選手が銅メダル獲得という快挙を成し遂げてくれました。

私が行っている、カヌースプリント競技とはまた異なる競技ですが、同じカヌー種目として、世界で勝つ姿を見せてくれて、とてもうれしく思いましたし、選手の取り組み次第では、世界で勝つ可能性は十分にあるんだということを証明してくれ、勇気と闘志をもらうことができました。

さらには、メダル獲得という偉業を成し遂げてくれたことで、まだ認知度の低い日本にメディアを介してカヌーという言葉が多く出るようになり、やはりオリンピックピックそしてメ

ダル獲得という力がそれほどまでにあるのだと改めて実感しました。

選手としては、4年後の東京五輪でのメダル獲得が私自身の最終目標となりますが、今回の羽根田選手の快挙を良い励み、教訓として日々精進していきたいと思っています。

そして東京五輪によって、羽根田選手のようにカヌースプリント競技の周知へと繋がられたらこの上なくうれしいことだと思います。

4年後の東京五輪で夢を実現できるように、今回感じた思いを忘れることなく胸に刻んでいきたいと思っています。

最後に、いつも応援してくださる町民の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。特に今回の2冠は皆さんの支えのおかげでもあります。皆さんの応援を勇気と力に変え、今後とも頑張ります。





## とも 温泉街に灯る優しいあかり

10/15 ~ 11/5

寸又峡温泉の秋の風物詩「和紙のあかり展」が開催されました

寸又峡温泉にて第11回和紙のあかり展が開催され、和紙で作られた照明作品が温泉街を優しく照らしました。

同じ温泉地である熊本県が地震により大きな被害を受けたことから、今年は「一筋の希望のあかり」をテーマに作品を募集しました。

照明デザイナーの篠崎里美さんら5人が審査員を務め、最高賞の金賞には坂野清一さん（石川県加賀市）の「森の中の教会」が選ばれました。「独創的な造形と色彩豊かな光を巧みに調和させる力量は圧巻」と高い評価を得ました。



▶見事金賞に輝いた「森の中の教会」

▲県内外から146点の応募があった

動画  
de  
広報

## 10/25 地域の魅力が相手に伝わるには？

地域の魅力に気づき、相手に「伝わる」工夫を学ぶ「エコパークツアー」を開催



▲ツアーの感想やガイドが工夫していた点などを共有しました

川根高校の2年生47人は、地域資源の魅力やエコツーリズムのガイドの役割について学ぶ「エコパークツアー」を実施しました。

生徒らは奥大井湖上駅であぶとラインを下車しエコティかわねの会員によるガイドで周辺を散策した後、接岨峡温泉会館でツアーを振り返りました。生徒が「触ったり嗅いだり五感での体験が多かった」「ガイドが歩くペースを配慮してくれた」などと発表すると、同会の神東美希事務局長も「ガイドとして意識するのは、相手に『伝える』のではなく『伝わる』こと」と話しました。

## ここから始める「創業」への一歩

10/16

創業希望者向けセミナーを町・町商工会・島田信用金庫・日本政策金融公庫が合同で開催

町内での創業に興味ある方や創業3年以内の方を対象とした「創業はじめての一歩セミナー」が、古民家レストラン「アサイー」（桑野山区）を会場に開催されました。

セミナーには町内や静岡市、島田市などから24人が参加し、オリーブbizの柴田弘美代表が創業についての考え方や起業家を取り巻く状況などについて講演しました。また「アサイー」オーナーの宮原淳さんが創業の体験談を紹介したほか、産業振興財団の仲田輝忠氏による税制優遇制度に関する説明なども行われました。



▶「創業は、自分が好きなことと社会のニーズが一致することが重要」と話した講師の柴田代表

▲グループに分かれて意見交換し、創業への理解を深めた